

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	血液脳関門通過性ヘテロ核酸の開発
研究代表者	横田 隆徳 (東京医科歯科大学・大学院医歯学総合研究科・教授) ※平成29年6月末現在
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>「絶食時に局在化するグルコーストランスポーター（Glut1）を標的として核酸医薬の脳内移行性を高める」という独自のコンセプトに基づいて、応募者の開発したDNA/RNAヘテロ核酸を神経難病治療に応用するという意欲的で重要な研究である。血液脳関門を通過するだけでなく治療効果を発揮するヘテロ核酸を緻密に設計する研究計画が提案されている。創薬研究者との協力体制が妙味で卓越した成果が期待できる。</p> <p>以上の理由により、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>